



たぶんか しゃかい たの
多文化な社会を楽しみませんか

ちいき す がいこくじん りかい たす あ
 ～地域に住む外国人を理解し、助け合おう～

外国人が言葉や文化・習慣の違う日本で生活するためには、地域住民の理解や交流が欠かせません。そこで、外国人が日本での生活の中で何を思い何を望んでいるのかを知るために、ラウンジで日本語を学習する外国人にアンケートを実施しました。

「Q 困ったことがある時、誰に相談しますか？」の問いに「家族や日本人以外の友達」、「Qあなたが知りたいことは何ですか？」の問いには「公共施設の使い方」、「地震、台風にあった時、病気になった時どうしたらいいか」との回答が多数でした。日本のお祭りに参加したい、日本人に自分たちの国を理解してもらおう活動をしたなどの声もありました。

ラウンジはこれらの回答を受けて、さらなる外国人支援に努めます。広報紙・情報紙、ホームページや交流

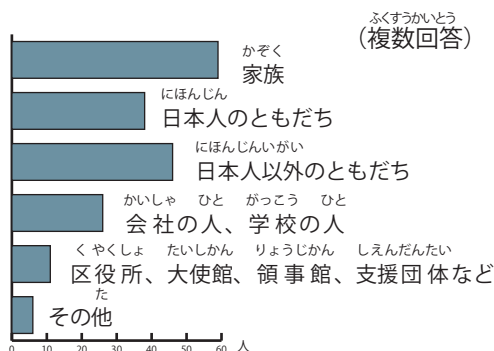
イベントを通じて、地域住民に、外国人を取り巻く現状の理解と支援への協力を求めたり、困ったことが起きた時に通訳や翻訳を担う語学ボランティア制度を充実させたりすることで、外国人一人一人への配慮を目指します。

今回のアンケート実施により、多くの外国人が地域社会への参加を望んでいることが分かりました。ラウン

ジは、そのきっかけとなる“場”を提供し、外国人が地域社会に参加しやすいコミュニティづくりを推進していきます。外国人と地域住民の助け合いから生まれる多文化な社会を楽しむための第一歩を、ラウンジと一緒に踏み出しましょう。



Q あなたは困ったとき、誰に相談しますか？

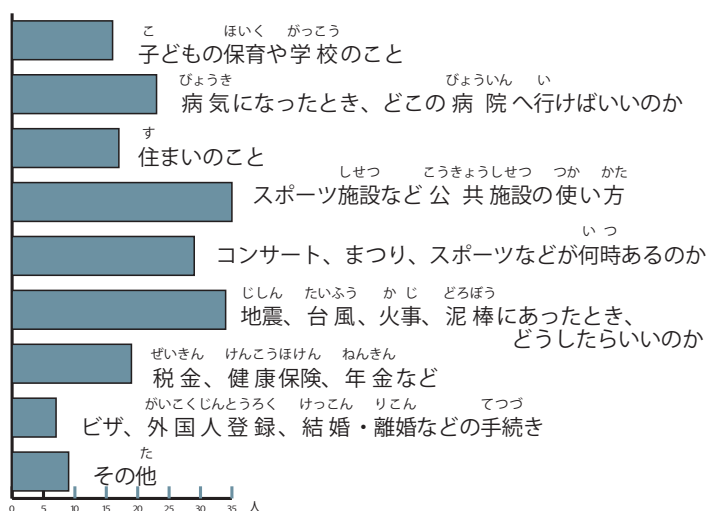


日本語学習者に対するアンケート

実施時期 2005年6月～7月
 回答者数 88人 回答率 87%

この詳細はラウンジのホームページでも見られます。

Q あなたが知りたいことは何ですか？ (ふたつまで回答)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2005年 支援活動のあれこれ

・ ・ より良い情報提供をめざして

ちいき ひとびと がいこくじん ことば せいかつしゅうかん ぶんか かちかん たが りかい ゆうこう ふか
地域の人々と外国人が、言葉、生活習慣、文化や価値観をお互いに理解して友好を深めるために、
らうんじはやくだ せいかつじょうほう ていきょう にほんごきょうしつ がいこくごきょうしつ かいさい
ラウンジは役立つ生活情報の提供、日本語教室、外国語教室の開催などをしています。

そのほかにも、モーニングコーヒーやインターナショナル・トークサロン、異文化紹介など。
いぶんかしょうかい
情報提供についての支援活動をいくつか紹介しましょう。



がいこくじん す

外国人住まいサポート

がいこくじん す

～外国人の住まいについての相談を受け付けています～

そうだん うけつ

らうんじでは、月に1度、かながわ外国人すまいサポートセンターから専門知識のある相談員が出張して、直接相談に答えます。「外国人というだけで貸してくれない」「保証人がいない」など、住まい探しで困っている方はいませんか？また、入居中や退去時に、大家さん・近隣・不動産店とトラブルがありませんか？
●相談費 無料 ●予約申込 不要 ※通訳が必要な方は、事前にご連絡ください。

くすまいサポートセンター相談員大内さんから一言＞
すまいに関する様々な問題を抱えて相談に訪れる外国人が増えてきました。その多くは文化や習慣の違いから生じるトラブルです。日本で暮らす外国人は増えていますが、まだまだ理解がすすんでおらず、外国人にとって暮らしやすい環境にはなっていないようです。すまいサポートセンターは外国人と大家さんや不動産店との間に入り、入居・退去がスムーズにできるようお手伝いをしています。いつでもご相談ください。
今後の相談日 毎月第3土曜日 午前11時～午後3時
2005年：11/19,12/17 2006年：1/21,2/18,3/18



10月、11月には、横浜市宮・県宮住宅の抽選会があります。入居を希望する外国人に、応募申込用紙記入のお手伝いをいたします。(要予約)ご希望の方は、かながわすまいサポートセンター (TEL: 045-228-1752 月・土:1p.m.-5p.m. 火～金:10a.m.-5p.m.) までご連絡ください。

ごがく

語学ボランティア

えいご

英語サポーターとして



Report

わたし あおぼくさいこうりゅう ごがく
私は、青葉国際交流ラウンジの語学ボランティアとして、
よこはましりつやました だいしょうがっこう えいご しごと
横浜市立山下みどり台小学校での英語サポーターの仕事をして
います。英語サポーターというのは、小学校での英語の
かつどう たんにん せんせい ほじよ ねんせい
活動をする担任の先生の補助をするものです。1年生から
ねんせい ぜんこうじどう えいご なら がくねん
6年生まで、全校児童が英語を習うので、それぞれの学年に
さぽーターが2名つき、児童は月1回この活動に参加します。
これは、あくまでも英語に親しみ、英語を身近に感じるという
もくてき おこな
目的で行われています。
わたし たんとう ねんせい とき かつどう せんせい
私の担当しているのは、4年生です。時には、活動が先生の

おも ouse
思うようにいかず、こちらも焦るシーンもありましたが、子供
たちの明るさに助けられたりしています。子供たちの目をいか
えいご む かつどう とお こども こくさいりかいど
に英語に向かわせ、この活動を通して子供たちの国際理解度
を深めるように心がけています。子供たちが質問に来たり、
おし いっしょうけんめいつか すかた
教えたフレーズを一生懸命使おうとしている姿をみると、
たいへんうれ こども みみ おどろ
大変嬉しくなります。子供たちの耳がいいことにも、驚かさ
れます。子供たちの無限の可能性には教え甲斐を感じます。こ
すてき きかい あた やました だいしょうがっこう あおば
んな素敵な機会を与えてくれた山下みどり台小学校と青葉
こくさいこうりゅう かんしゃ あだち ゆか
国際交流ラウンジに感謝です。(足立 由香)



ラウンジの携帯サイトができました。ご利用ください。

アクセス方法は <http://home.h00.itscom.net/aobalnge/keitai/page/index.htm> の手入力

または右にあるバーコードをバーコードリーダー搭載の携帯電話で読み取る方法です。



こうかいこうぎ にいがたけん ちゅうえつじしん まな
公開講座「新潟県中越地震から学んだこと」

ながおかしこくさいこうりゅう ちよう は がとものぶ
 10月8日(土)長岡市国際交流センター長の羽賀友信
 さんを講師に招き、主に災害時の外国人支援について
 貴重な体験を伺いました。例えば、日本人と外国人が
 「災害が起きたとき外国人のために先ず何が必要な
 か」という問題意識を共有すること。在住外国人に
 は『生活マニュアル』の配布をとおして、緊急時の対処
 の仕方などを伝えていたつもりだったが、十分に知ら
 れていなかったこと。また、地震を知らない外国人に
 は全く役に立たなかったこと、などでした。

さいがいじ はもと ひと ひさいしや
 災害時には地元の人でも被災者となるので、ボランテ
 ィアとしての活動が難しい状況もでてきます。災害
 の大きさから、被災者が支援拠点を利用するというこ
 とまで考えられなかった実情もあります。日頃は
 外国人と交流ができていながらも、かれらの生活
 環境や家庭環境を知らないために、状況に応じた
 支援が行き届かなかったという反省も伺えました。
 文化の違いから誤解が生まれ、支援活動がスムーズに
 実施できなかった事態もみられたようです。
 災害発生時とその後の対策としては、次のことが指摘
 されました。

がいこくじん けんしゅうこうぎ
外国人ボランティアのための研修講座

- ① ラジオなどを利用して多言語情報を提供し、“あなた一人ではない”というメッセージを送り続ける
 - ② 避難所では被災外国人のカルテを作成し、個別に適切な対応を行う
 - ③ 心のケアや仕事への復帰については行政の協力を得る
- 今回の講演をとおして、普段から外国人住人と話し合う機会を持ち、顔の見える関係をつくるのが大切だと実感しました。そうした人間関係の中から、災害時に対応できるシステムを考え、準備する必要があります。「共生」のあり方を真剣に考え直す場となりました。



こそだて しえん きょういくしえん
子育て支援・教育支援プロジェクト

だれ あんしん す だれ さんか
誰もが安心して住めるまちづくりをめざして YOEKE と 共催

こんねんど たぶんか こそだ しえん *1 がいこく
 今年度、「多文化な子育て支援プロジェクト」*1と「外国
 人子ども教育支援プロジェクト」*2に共催の形で参加
 しています。だれもが安心して住めるまちづくりをめ
 ざして、行政、地域の協力団体、ラウンジ、そして
 外国人が関わり、みんなで連携して、そのさまざまな
 課題を解決していこうとしています。青葉地域で、下記
 のプログラムを企画しました。

この活動に参加するなか、外国人の子育て・教育支援の
 課題について、これからのラウンジに求められる役割
 や機能を考えたり、また、その実現化を模索しています。

<*1*2 (財)横浜国際交流教会 (YOKE)
 共生のまちづくりネットワーク
 よこはま「青葉地域連絡会」
 青葉国際交流ラウンジの共催プロジェクト>

- アートフォーラムあざみ野オープニングイベントに参加

世界の遊びと絵本の読み聞かせ

—2005年10月30日(日) 10:30~12:30 アートフォーラムあざみ野

- 外国人むけ教育相談会開催

中学生保護者対象

小学生保護者対象

—2005年11月13日(日) 13:30~15:30

—2006年1月15日(日) 13:30~15:30

青葉区区民交流センター

青葉区区民交流センター



インフォメーション

●アフタヌーンティ

11月8日(火) 14:00~16:00

青葉区区民交流センター会議室

「私の愛する日本と日本語」

ゲスト：ジェフ・ラドニックさん

参加費：200円 定員：30名 保育あり

●異文化紹介

11月19日(土) 17:30~19:30

藤が丘地区センター

「フランスの夕べ」

一ワインとシャンソンとおしゃべりと

ゲスト：ANNA BROT TAKINOさん

参加費：300円 定員：50名

●やさしい英語でディスカッション No. 18

11月19日(土) 13:30~16:00

数カ国のゲストをお招きして、それぞれ感じたことを語っていただきます。その後、皆さんとやさしい英語で意見交換をします。

青葉公会堂2階会議室

参加費：400円 定員：40名

●第100回 インターナショナルトークサロン

11月26日(土) 18:00~20:30

藤が丘地区センター

記念講演と音楽の夕べ

「60周年を迎えた国連と日本」

ゲストスピーカー：岡部 みどりさん

音楽：長谷川 潤と仲間たち

参加費：300円 定員：70名

●サロン・コンサート

12月16日(金) 18:00~20:00

青葉区区民交流センター会議室

三人のギタリストの演奏

出演：井桁 典子さん 江部 賢一さん

エルマンノ・ボッティリエーリさん

参加費：500円 定員：70名



編集後記



11月は、はじめての「区民交流センターまつり」が開催されます。

これは恩田地区連合自治会、区民活動支援センター、ラウンジ、

青葉区役所が「田奈から広がる地域の和・世界の“わ”」を

合言葉に 合同で開催するものです。

多数の皆様の参加をお待ちしています。

あおばくくみんこうりゅう 青葉区区民交流センターまつり

11月23日(祝) 10:00~16:30

(雨天のとき、ステージ発表は中止)

区民交流センターまつりに、ラウンジも参加します！
屋内では、国際児童画展の紹介や外国人との交流やマジックショー。屋外では、模擬店として各国の料理や民芸品を販売。ステージでは、ダンスや演奏など異国情緒を味わえます。
みなさま、どうぞお越しください。

国際児童画展のお知らせ

11月22日(火)~27日(日) アートフォーラムあざみ野にて展示(「青葉区民芸術祭」共同開催)

詳しいことは窓口にてお問合せください。

「転入のしおり」をご存知ですか？



海外赴任から子供をつれて帰国したとき、まず心配なのは学校のこと。青葉区は、横浜市の中で帰国児童が多い地域です。そこで帰国児童の母有志が、青葉区の小学校用「転入のしおり」を作りました。荏田西小学校の「転入のしおり」などをもとに、平成13年に初版を発行した後、順次改定され、現在第5版が出ています。朝日、読売新聞の各紙で取り上げられ、読売衛星版にも載りました。

その後、外国人児童と保護者のために、語学ボランティアが英語と中国語に翻訳。その際、日本語にしかない言葉(雑巾、給食袋、連絡帳など)を訳すのに苦労しました。

この冊子は、保護者と児童のためのものですが、帰国児童、外国人児童を受け持つ先生方にも読んでいただければと思います。「転入のしおり」は、ラウンジ窓口で無料で配布しています。ラウンジ・ホームページからも印刷できます。

